

第58回日本薬剤師会学術大会



セレモニー部門
中林 保

47年振りに京都に帰ってきました（その4）

第58回日本薬剤師会学術大会（10月12日（日）、13日（月・祝））於国立京都国際会館

セレモニー部門 中林 保

本コーナーでは学術大会が開催に至るまでのエピソードや想いを毎月ご紹介します。
今月はセレモニー部門の中林保先生にお話を伺いました。（聞き手：渡邊由佳子）

—特別記念講演「iPS細胞が目指す未来」高橋淳先生（京都大学iPS細胞研究所長）には、多くの参加者が興味をお持ちだと思います。決定に至るエピソードなどお聞かせ願えますか—

特別記念講演に高橋淳先生（京都大学iPS細胞研究所長）をお招きすることが決定した背景には、「京都と言えばiPS細胞」とも言えるほど、再生医療の最前線を牽引している存在であること、そして今後の医療の未来を語るうえで欠かせない研究分野であるという強い認識がありました。

高橋先生は、これまでiPS細胞の基礎研究から臨床応用まで一貫して携わってこられ、特に現在は、パーキンソン病の治療に向けた臨床応用の動きが注目を集めています。この秋にも新たな進展があるとの報道もあり、最前線の「生の声」をお聞きいただける貴重な機会になると確信しております。

まさしく学術大会のテーマである「プロフェッショナリズムの涵養」と一致し、薬剤師として未来の医療とどう向き合うかを考えるヒントになる講演になると考え、今回のご登壇をお願いした次第です。

—懇親会（10月12日）では、京都ならではの企画をご用意されているそうですね—

10月12日（日）19時より、ザ・プリンス京都宝ヶ池にて開催予定の懇親会では、京都ならではの趣向を凝らした企画をご用意しております。

まず、「京都日本酒試飲コーナー」を設け、京都の地酒の魅力を全国の薬剤師の皆様にご体験していただける機会を予定しています。京都の伝統と風土が育んだ多彩な銘酒を味わっていただき、地域文化への理解と交流の場となればと考えております。

さらにアトラクションとして、「大学の街・京都」ならではの企画として、女性メンバーを中心に構成された大学生応援団によるパフォーマンスを予定しております。若い力と躍動感あふれる演技で、会場の雰囲気を一層盛り上げてくれることでしょう。

ご参加の皆様にとって、学びのあとのひとときを京都の文化とともに楽しんでいただけるよう、心を込めて準備を進めております。

—参加を検討されている皆様にむけての想いをお聞かせください—

本学術大会では、未来の医療を見据えた特別企画・特別講演を多数ご用意しています。iPS細胞研究の最前線を伝える京都大学iPS細胞研究所の井上治久先生・長船健二先生、がんゲノム医療を牽引する国立がん研究センターの間野博行先生、脳とAIの未来を分かり易く語る東京大学の池谷裕二先生、薬物依存と向き合う臨床現場から松本俊彦先生のご講演など、今を代表する専門家が集います。

さらに文化講演として、狂言師・茂山茂先生、未生流家元・笹岡隆甫先生をお迎えし、笹岡先生には開会式での生け花パフォーマンスも披露いただきます。

全国の薬剤師の皆様が学び、つながり、心動かされる2日間になるよう準備を進めております。京都の地で会えることを心よりお待ちしております。

—それでは、今回はここまでといたします。引き続き、皆様に学術大会情報をお伝えしていきます—